

似ている形に注意

食

◇マークの説明

食べられる植物です。

(食のマークは有毒植物と比べている写真にだけ付けています。)

有毒

有毒植物です。

見た目は似ていても…

ヤマイモとグロリオサ (有毒)



上：ヤマイモ

ヤマイモは表面がゴツゴツして、ひげ根があり、表皮ははがれにくい。

下：グロリオサの球根

グロリオサは表面が滑らかで、ひげ根がなく、表皮ははがれやすい。

実際にあった事例

ヤマイモと間違えてグロリオサの球根を食べてしまい、死亡したという事例が複数あります。

グロリオサ (和名：キツネユリ、ユリゲルマ) (ユリ科)

アフリカ、アジアの熱帯地域に分布する球根植物です。

近年、一般の家庭でも栽培されるようになり、露地では、初夏から晩秋に開花がみられます。茎は、つる性で細く、草長は、数メートルに達します。茎は、ユリ状ですが、先端に巻ひげがあり、この巻ひげで他の植物などに巻きついて生育します。花は、赤、赤紫、黄色が多く、花弁は6枚で、開花すると反転します。地下部には、円筒状の球根をつくり、地上部が枯れた後も土中で越冬し、繁殖します。

植物全体に**コルヒチン**を含有し、特に球根に多く含みます。栽培や鑑賞をすることに問題はありますが、誤食すると、中毒の原因となります。**中毒症状は口腔・咽頭灼熱感、発熱、おう吐、下痢、背部とう痛などを呈し、臓器の機能不全などにより、死亡することもあります。**

有毒



グロリオサの花